

通信小海

「貧しい者は幸いです」

牧師 荒籾 実 あらいもみ まこと

「逆説」の説明として広辞苑で例としてあげられているものが、「貧しい者は幸いです」という聖書のみことばです。「逆説」とは、一般に真理と認められるものに反する説のことを意味しています。昔も今も人間は富む者は幸いであると考えます。人より少しでも多く富を手に入れることが幸福になるための条件であると思ひ込んでいる人が多いように思います。確かに、経済的に厳しい状態にあると心にゆとりがなくなる面は否めません。しかし、多くの富を手に入れたらその富を貧しい人に喜んで分け合おうとするかという

【今月のみことば】

「貧しい者は幸いです。
神の国はあなたがたのものだから。」
ルカ6:20

と、そうならない現実があるように思えます。人間は弱く貪欲なものです。いくらあっても将来に対する不安や、富に対する執着心からなかなか解放されません。まだ足りない。もっと蓄えなければ安心して老後を迎えることはできないと考えます。そして、身近にいる助けを必要とする人々へのあわれみの心を閉ざすことがあるのです。かつて日本も貧しい時代を経験した国です。しかし、その貧しさを知らない世代が多くなった現代、人々の心は昔よりも豊かになったと言えるでしょう。いいえ、むしろ人々の心は冷え、利己的な人間が増えていると言えるでしょう。イエス様は、人間の心が富では満たされないことを知っておられ、人間に一番必要なことを教えられました。

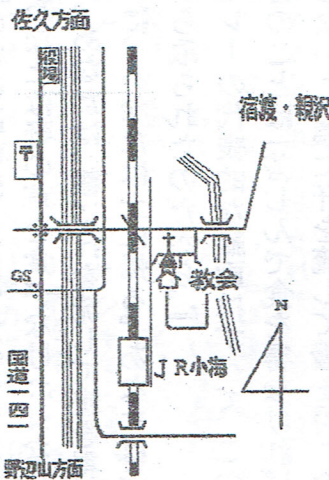
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一一〇二 電話0267・88・7169

千振番 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

それは自分が貧しい者（＝罪人）であることを自覚することです。

イエス様は物質的に貧しい者が幸いだと言われたのではなく、霊的に貧しい者が幸いだと教えられたのです。霊的に貧しい者とは、神に対して謙虚な人、つまり心から自分の罪を認め、神様にあわれみを求める人です。

神様は、私たちが自分の罪を言い表すなら、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださると約束しておられます。それは、私たちの身代わりとして、イエス様が十字架に架かり、私たちが受けるべき罪の罰をイエス様が受けてくださったからです。このイエス様を自分の救い主であると信じる人は誰でも救われます。イエス様を心にお迎えすると、あなたの心のうちに神の国（＝神様がご支配されている所）が建て上げられるのです。神様の素晴らしい恵み、福音を受け入れた人が本当の意味で幸いな人なのです。



連載

信仰の眼で読み解く絵画

岡山 敦彦 〔著〕

第二章 ミレー

〈農民画家としての信仰の生涯〉

⑫



ミレーが育ったフランス北部の寒村グリュシーの光景とバルビゾン村の光景が重なって見えました。彼の生活の原風景、人生の原点がよみがえってきたのです。ただ見える景色だけではありません。村人たちの働く姿が同じだったのです。特にミレーのように田舎育ちの人にとっては、自分の故郷の景色、生活のありさまは心に深く刻み込まれていたのです。彼が描きたかっただけのもの、額に汗して働き、日暮れ時に教会の鐘が鳴ると、農作業の手を休めて祈りを捧げる善良な農民たちのありのままの姿でした。

彼は、いわゆる牧歌的な絵画を描こうとしませんでした。労働の尊厳や厳しさ、その中にある神への素朴な感謝と喜びを表現しようとしたのです。

彼が絵画を描く時、次の聖書のことばが脳裏に刻まれていたと思います。それは、アダムが神の戒めを破り、エデンの園を追放される時、神から言い渡されたことばです。『あなたは、一生、苦しんで食を得なければなりません。土地は、あなたのためにいばらとあざみを生えさせ、あなたは野の草を食べなければなりません。あなたは、額に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。』

ミレーの代表的な絵画はすべて、この聖書のことば「苦しんで食を得なければなりません」「額に汗を流して糧を得」を表現しているといっても過言ではありません。彼の絵画は、聖書のことばの表現であり、生きることはたやすいことではなく、苦しみを伴うものであり、人生とはそのようなものだと言っているのです。

〈終わり〉

ニチニチソウ

日日草・日々想



「空き缶一本」

先日、教会の方々と分かち合った話なのですが、最近初めて受けた電話がありました。教会には様々な電話がかかってきますので、直接にも間接的にも色々なお話を伺います。けれども、夫婦で「こんな電話は初めてだね」と感動し合うようなことは、そう多くはありません。その電話とは……

「空き缶を置き忘れてきました」という一人の兄弟（教会では、イエス様を信じる人同士を家族として「兄弟」「姉妹」と呼び合います）からのものでした。

一瞬「??」と思ったのですが、おつしやる意味が分かった時、なんと

う誠実さなんだろうと感動した訳なのです。

私は牧師の妻として、教会の中の細かいことは自分がすべきことだと思っておりますし、ゴミ捨てなどはその最たるものとして当然のごとく、すでに空き缶は捨ててありました。けれどもその方は、自分が捨てるべきものを置いてきてしまったという認識で、電話をして下さったのでした。

そこに、やつてもらって当たり前と思わない優しさや、ゴミを処分する人への思いやりを感じ、本当に有り難い気持ちになりました。それと同時に教えられたことは、真の誠実さや謙虚さというのは、こういう小さなことに現されるものなのだということ。そして「小さいことに忠実な人は、大きいことにも忠実であり、小さいことに不忠実な人は、大きいことにも不忠実です。」と言われたイエス様のお言葉を思い出しました。

「小さいことに忠実である」というのは、重箱の隅をつつくような細かさを意味するのではなく、ともすると軽んじて

しまいがちな事柄に対する心の向け方を論ずるのだと思います。たった一つ、たった一回、これぐらい……と軽視するところに心の隙が生まれ、大事に至るといふことはよくあることです。

ため息しか出ない為政者たちのニュースを聞きながら、国の政治を司るといふ大きな仕事を任されている人達は、果たして道に落ちていいるゴミを捨てたりするのだろうか？などという愚問に近い問いを思ったりしました。

「忠実」というギリシヤ語には、「信仰深い」という意味があるそうです。聖書に示されている神様の視点で物事を見、考えて行動する在り方と言ってもよいかも知れません。

空き缶一本にさえ心を留めて電話を下された兄弟は、まさに忠実な人です。私もクリスチャンとして人として、小さなことにこそ忠実である生き方を、絶えず確認しつつ選択していききたいと改めて思わされました。



暮らしの くすりばこ



《今月の処方箋》

◆薬のカジュアル飲みに注意◆

「ハチはリスク」と言われるように、症状を抑える効果はありますが、そこには少なからず体にダメージを与える副作用が伴います。

テレビのCM等で「早く効く」「すぐ治る」とインパクトをさせるようなキャッチフレーズを聞き続けてきた世代は、薬を無害万能と思い込み、副作用や常飲のリスクを考えずに、気軽に使用してしまう傾向があると指摘されています。特に若い女性がおしゃれなピルケースに薬を入れて持ち歩き、常用する「カジュアル飲み」は真剣に向き合わなければならぬ現代の健康課題の一つでしょう。

薬の常用習慣ほど、身体の免疫力をむしろ弱めるものはありません。薬の常用は人の体を負のスパイラルに引き込みます。「薬を手放せなくなる」→「耐性ができて効かなくなり、量が増える」→「効かないので薬の種類が増えていく」→「副作用が現れ、それに対処する薬が加わる」といった「足し算処方」に拍車がかかり、多量の薬を飲んで薬に依存する心と体を作ってしまう。そして、原因不明の体調不良に悩まされるという結果を招いてしまうのです。

「自然治癒力」という素晴らしい力が人間には備わっているのに、いわゆる風邪などには、本来薬は必要ありません。健康を保つには、薬と上手に離れることだと言われます。薬を飲んで休まず働くという在り方から見直していきたいと思えます。

《参考》『その「1錠」が脳をダメにする・薬剤師が教える薬の害がわかる本』宇多川久美子 著

5月のハレルヤキッズは19日(土)です。遊びに来て下さい♪



路上生活者支援

山谷(やま) 農場

海苔、お願いします！

切手やハガキをお寄せ下さった皆さん、本当にありがとうございます。郵送費の支援は続けてお願いしたいのですが、それに加えて『焼き海苔』もぜひお寄せいただきたいのです。ご協力、よろしくお願いします。



《連絡先》 藤田 寛

TEL 090・1436・6334

FAX 042・786・2088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

《物資送付先》 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384-1302 南牧村大字海ノ口966-15 南牧村社会福祉協議会 気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ:〒振替〇〇二四〇・四・五三七九六